

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月4日

上場取引所 大福

上場会社名 株式会社トータル・メディカルサービス  
 コード番号 3163 URL <http://www.tms-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 繁樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 小倉 賢一

TEL 092-941-4141

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,701	6.9	68	△41.0	71	△30.6	36	△20.5
23年3月期第1四半期	1,592	—	116	—	102	—	46	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	24.68	—
23年3月期第1四半期	36.03	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,752	—	1,861	—	—	39.2
23年3月期	4,339	—	1,899	—	—	43.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,861百万円 23年3月期 1,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	150.00	150.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 平成23年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,619	12.0	309	5.4	314	11.4	166	19.7	111.75
通期	7,244	10.0	647	3.3	654	5.7	345	8.6	232.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	1,485,900 株	23年3月期	1,485,900 株
24年3月期1Q	294 株	23年3月期	294 株
24年3月期1Q	1,485,606 株	23年3月期1Q	1,279,424 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成23年4月1日付で1株につき3株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、本年3月11日に発生した東日本大震災からの復興に向け、一部ではインフラや生産設備等の復旧が進み回復しつつあるものの、原子力発電所の事故に伴う電力供給問題、個人消費の落ち込みや国内企業の業績悪化に加え、海外景気の下振れによる円高の進行など、先行きが見通せない状況のままで推移いたしました。

当社が属する調剤薬局業界におきましては、急速な少子高齢化社会の進展を背景に、社会保障に関する財政改善を目的とした医療費抑制政策の継続基調は変わらず、薬価の引下げなど様々な医療制度改革が行われており、引き続き厳しい状況となっております。

こうした環境の中、当社は、業務の効率化によるコスト削減を図るため、調剤設備を充実させるなどIT化による効率化を図り、収益性の向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,701,862千円と前年同四半期に比し109,280千円(6.9%増)の増加となりました。損益面では、5月及び6月に新規開局した店舗に係る初期費用の発生などにより営業利益は68,875千円と前年同四半期に比し47,936千円(41.0%減)の減少、経常利益は71,383千円と前年同四半期に比し31,480千円(30.6%減)の減少となり、四半期純利益は36,663千円と前年同四半期に比し9,440千円(20.5%減)の減少となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①調剤薬局事業

当第1四半期累計期間において2店舗新規開局したことや既存店舗についても処方箋枚数が増加し順調に推移したことから売上高は1,600,453千円と前年同四半期に比し114,524千円(7.7%増)の増加となりました。

#### ②その他

健康食品事業の売上高は7,830千円、メディカルサポート事業の売上高は93,578千円となり、合計で101,408千円と前年同四半期に比し5,244千円(4.9%減)の減少となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は2,119,114千円となり、前事業年度末残高1,936,693千円に対し182,421千円増加しました。これは主として、土地の一部売却などにより現金及び預金が70,199千円、店舗の新規開局並びに既存店舗の売上高増加に伴い商品が76,147千円増加したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は2,633,632千円となり、前事業年度末残高2,402,801千円に対し230,831千円増加しました。これは主として、新規開局した2店舗の建物の取得等による増加229,818千円と土地の一部売却や減価償却等による減少49,806千円との差引により有形固定資産が180,011千円、賃貸用不動産を取得したことなどにより投資不動産が65,237千円増加した一方で、のれんの償却によりのれんが15,987千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は2,274,029千円となり、前事業年度末残高1,949,305千円に対し324,724千円増加しました。これは主として、(流動資産)の商品の増加要因と同様の理由で、当第1四半期において医薬品の購入量が増加したため買掛金が220,953千円、新規借入等により短期借入金が111,138千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は617,339千円となり、前事業年度末残高490,629千円に対し126,710千円増加しました。これは主として、新規借入等により長期借入金が128,450千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は1,861,378千円となり、前事業年度末残高1,899,559千円に対し38,181千円減少しました。これは主として、配当金の支払いにより利益剰余金が37,616千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月12日に発表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間から、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号平成22年6月30日)を適用しております。

この適用により、当第1四半期累計期間に行った株式分割は、前事業年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第1四半期累計期間の1株当たり四半期純利益は108円10銭であります。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	801,073	871,272
売掛金	899,884	906,490
商品	167,452	243,599
その他	69,184	98,669
貸倒引当金	△901	△917
流動資産合計	1,936,693	2,119,114
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	530,780	693,329
土地	1,037,588	1,009,170
その他(純額)	133,372	179,254
有形固定資産合計	1,701,741	1,881,753
無形固定資産		
のれん	127,898	111,911
その他	44,782	41,743
無形固定資産合計	172,680	153,654
投資その他の資産		
投資有価証券	142,242	138,793
投資不動産(純額)	140,677	205,914
その他	247,916	255,575
貸倒引当金	△2,457	△2,059
投資その他の資産合計	528,378	598,224
固定資産合計	2,402,801	2,633,632
資産合計	4,339,494	4,752,747

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	913,428	1,134,381
短期借入金	661,744	772,882
未払法人税等	189,500	59,299
賞与引当金	71,460	42,369
その他の引当金	6,000	1,250
その他	107,171	263,847
流動負債合計	1,949,305	2,274,029
固定負債		
長期借入金	316,501	444,951
退職給付引当金	58,034	58,758
役員退職慰労引当金	65,689	67,162
その他	50,404	46,468
固定負債合計	490,629	617,339
負債合計	2,439,934	2,891,368
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	281,661	281,661
資本剰余金	184,661	184,661
利益剰余金	1,425,624	1,388,007
自己株式	△367	△367
株主資本合計	1,891,579	1,853,962
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,980	7,415
評価・換算差額等合計	7,980	7,415
純資産合計	1,899,559	1,861,378
負債純資産合計	4,339,494	4,752,747

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,592,581	1,701,862
売上原価	1,351,145	1,498,985
売上総利益	241,435	202,876
販売費及び一般管理費	124,623	134,000
営業利益	116,811	68,875
営業外収益		
受取利息	249	248
受取配当金	865	857
受取賃貸料	3,022	3,422
受取保険金	—	1,729
その他	1,762	624
営業外収益合計	5,901	6,882
営業外費用		
支払利息	1,951	1,894
株式交付費	7,862	—
株式公開費用	9,287	—
投資不動産管理費用	701	2,253
その他	45	226
営業外費用合計	19,848	4,373
経常利益	102,864	71,383
特別利益		
固定資産売却益	—	5,581
特別利益合計	—	5,581
特別損失		
固定資産除売却損	235	70
投資有価証券売却損	—	750
ゴルフ会員権評価損	4,092	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	915	—
特別損失合計	5,242	820
税引前四半期純利益	97,621	76,144
法人税、住民税及び事業税	74,299	57,900
法人税等調整額	△22,781	△18,419
法人税等合計	51,517	39,481
四半期純利益	46,103	36,663

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。